



4年連続トップ：シルバーの輝きは続く

PPG インダストリーズ社の世界人気カラー調査結果発表

【米国ミシガン州トロイ市、2004年10月18日】

時代が求めているのはゴールドではなく、シルバーだった。自動車用塗料の世界的リーディングカンパニーである PPG インダストリーズが毎年全世界で実施している人気カラー調査によれば、北米地区で最も人気のある車体色は 2004 モデルイヤーもシルバーで、4年連続となった。

2004 モデルイヤーに北米地区で製造された車両の塗装色では、シルバーが人気ナンバーワンで 27%だった(前年 24%)。ニュートラルカラーの 1 つであるシルバーは、すべての車両部門でトップの地位を保持し、特にスポーツカー／コンパクトカー部門では、31%と最も高いスコアをあげた。これは、前年比 11 パーcentageポイント増で、すべての部門を通じて最大の伸びとなった。

「シルバーは、今年、全世界でダントツの強さを見せ、その人気は、ますます高まっているように思われます。弊社は、シルバーや同系色のブライトメタリック、ライトメタリックについて、大胆かつ斬新な特性の開発を続ける予定です。シルバーは、車両設計や消費者の好みに支えられ、ナンバーワンの座を維持する力をもっています。」こう語るのは、PPG 自動車塗料部門のグローバルデザイン&カラーマーケティング担当マネージャーであるローレン・ベッチャーだ。

この PPG の調査では、モデルイヤー2004 に、北米生産車でシルバーに次いで人気があったのがレッドとホワイトで、それぞれ 14%。それにブラック(13%)、ブルー(12%)が続いている。そして、ナチュラルカラー各色(ゴールド、赤銅色、シャンペン、薄いブラウンとイエロー)が 11%、グリーン 5%で、その他のニッチ色や特殊色は 4%となった。

PPG によって集計された世界的なカラートレンドのデータによれば、シルバーが人気ナンバーワンなのは北米地区だけでなく、世界的な傾向であることが明らかになっている。調査対象となった世界の主要な自動車市場では、生産台数の 38%をシルバーが占めていた。

世界市場では、ホワイトが第 2 位で 15.4%、次いでブラック(13.9%)、ナチュラル系(9.3%)、ブルー(8.9%)、レッド(6.9%)、グリーン(6.3%)、その他(1%強)の順だった。PPG のグローバルデザ

イン&カラーマーケティングチームは、北米、ヨーロッパ、日本、南米、インド、オーストラリア、マレーシア、台湾、タイ、韓国、中国の 25 人を超えるカラーデザイナーによって構成されており、自動車メーカーに対して、最先端のカラートレンドに関するアドバイスをを行い、そのブランド・アイデンティティーや車両のイメージの向上に寄与している。

同チームは、世界での自動車、ファッション、建築やインテリアデザインのトレンドの研究、地域性に関する知見や新技術の知識を組み合わせ、世界レベルでの色彩の好みについて解明を進めている。

PPG では、過去 20 年以上にわたって新色と最新技術情報を追いつけ、その成果を全世界の自動車メーカーに提供してきている。PPG は、車体色以外にも航空宇宙用塗料、アフターマーケット用塗料、建築用塗料、一般工業用塗料、ガラスや汎用塗料製品のカラートレンド形成にも助力している。

同社は、1927 年以來、装飾用塗料と保護用塗料の技術革新、そして塗料が環境に及ぼす影響に真正面から取り組み、自動車メーカーにおける自動車用塗料の塗装技術や塗装工程の進歩に最も大きく貢献してきた。

米国ピッツバーグに本社のある PPG は、世界有数の自動車用塗料メーカー、世界で主要な工業用塗料と容器コーティング剤のサプライヤーであり、北米で大手の建築用塗料メーカーである。このほかにも同社では、板ガラスや加工ガラス、ガラス繊維（連続ストランド）や化学品を製造している。2003 年の売上高は 88 億米ドル（約 9,700 億円）。

お問い合わせ先:

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷2-15-1

渋谷クロスタワー13階

PPGジャパン(株)

工業用塗料部

TEL 03-3476-7015

FAX 03-5778-2557

大阪営業所: 06-6376-3161

E-mail: sales_japan@ppg.com

ホームページ: <http://corporate.ppg.com/PPG/SBU/IndustrialCoatings/Japan>